

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020090

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	スポーツイベント参加助成金	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	9 産業振興課	
事業指標	オホーツクサイクリングへの町民の参加支援		#N/A	
事業目標	参加者の確保	ハード・ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 雄武町スポーツイベント参加助成金交付要綱	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	オホーツクサイクリング参加費の一部助成 ・小学生8名×3千円(24千円) ・中学生9名×5千円(45千円) ・高校生3名×7千円(21千円) ・一般20名×5千円(100千円)	・小学生8名×3千円(24千円) ・中学生9名×5千円(45千円) ・高校生3名×7千円(21千円) ・一般20名×5千円(100千円)	・小学生8名×3千円(24千円) ・中学生9名×5千円(45千円) ・高校生3名×7千円(21千円) ・一般20名×5千円(100千円)	・小学生8名×3千円(24千円) ・中学生9名×5千円(45千円) ・高校生3名×7千円(21千円) ・一般20名×5千円(100千円)	・小学生8名×3千円(24千円) ・中学生9名×5千円(45千円) ・高校生3名×7千円(21千円) ・一般20名×5千円(100千円)	・小学生8名×3千円(24千円) ・中学生9名×5千円(45千円) ・高校生3名×7千円(21千円) ・一般20名×5千円(100千円)
	事業費(千円)	950	190	190	190	190
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	950	190	190	190	190	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	143	143	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	143	143				
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) 参加助成 小学生 8名 中学生 7名 高校生 2名 一般 13名	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	40名	40名	40名	40名
		年度達成率	75%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	15%	15%	15%	15%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	スポーツイベント参加助成金	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	助成者数	
【抱える課題やニーズは】	オホーツクサイクリング参加者の減少。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	オホーツクサイクリング参加費の一部を助成し、参加の負担を軽減する。	① 助成者数 (平成25年度助成対象者34名)	目標年度	平成25年度
			目標値	40名
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	オホーツクサイクリング参加者の増加による事業の発展及び町の活性化を目的とする。	②	実績値	30名
			達成度	75.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	オホーツクサイクリング参加費助成	町広報等で助成周知を行い、児童・生徒に対し参加費の一部を助成した。 (助成額 小学生3千円、中学生5千円、高校生7千円、一般5千円)	目標年度	平成25年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町はオホーツクサイクリングの出発地という重要な役割を担っており、町民の参加促進が必要である。また、児童・生徒の貴重なスポーツ体験の機会を提供する意味でも助成は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	助成者数は目標値を下回ったものの、参加費の一部助成により、参加者の増加につながっている。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	参加者のニーズに沿い助成額を4区分に分けていることから、効率的に助成を行うことができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	広く町民を対象としていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
利用実績に向上が見られることから、オホーツクサイクリングに参加しやすい環境づくりに貢献できたと考ええる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
制度を利用する参加者は増加しており、成果は挙がっている。今後も周知徹底し利用しやすい環境づくりに努める。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止